

2023年3月期
第2四半期決算説明資料

株式会社 T & K TOKA
T&K TOKA CO., LTD.

2022年11月15日

T&K

TOKA

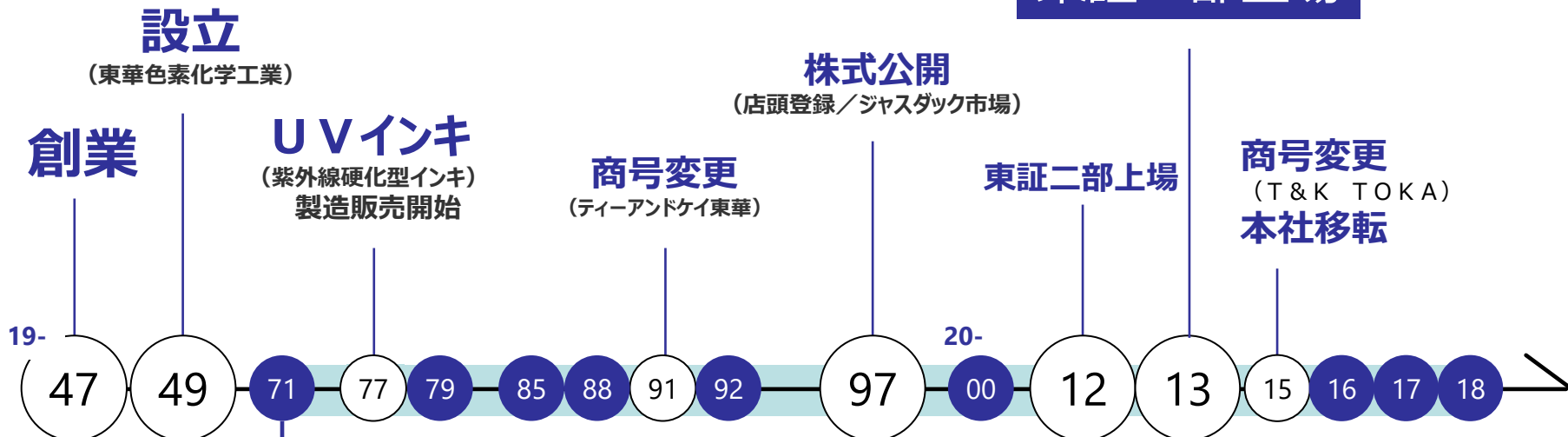
Technology & Kindness
技術とまごころ

経営理念である
「独自のテクノロジー」で
「お客様にとって真によいもの」を提供し、
社会に貢献するを表しています。

東京  中華

創業者は戦前、
中国でインキ業に携わっていました。
帰国後、**中国との架け橋になりたい**
との思いから、名付けられました。

東証一部上場



海外現地法人の設立

1971年	インドネシア	2000年	サウジアラビア
1979年	韓国	2016年	タイ
(香港には1969年より支店開設)		2017年	オランダ
1985年	香港	2017年	アメリカ・ニューヨーク
1988年	中国・浙江省杭州	2018年	中国・浙江省嘉興
1992年	Bangladesh	2018年	アメリカ・イリノイ

印刷インキ + 精密分散品・機能性樹脂 メーカー

印刷インキ

- パッケージ印刷用途
- 出版・商業印刷用途
- その他印刷用途

UVインキ・植物油インキ
その他インキ



機能性材料

- 精密分散品
FPDカラーフィルター用途
光ファイバー用途
- 機能性樹脂
接着剤用硬化剤 等

印刷用UVインキ国内トップシェア

アジア各国において当社の製品ブランド
“UV 161” がUVインキの代名詞化

多数のディスプレイブランドで採用

光ファイバー用UVインキ国内トップシェア

土木・建築から電子材料、自動車、
航空機・宇宙まで幅広く採用

UVインキ

UV（紫外線:Ultra Violet）の照射により瞬時に乾燥するインキです。紙・フィルム・PETなど様々なものに印刷でき、紙パッケージ・食品包装材・ラベル・クリアファイルなど多様な用途があります。

平版インキ

平版印刷（オフセット印刷）のためのインキで、書籍・チラシなどの出版物の印刷に広く用いられます。

その他インキ

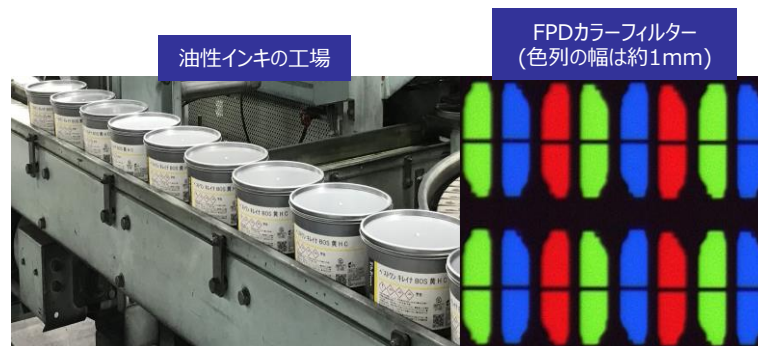
上記以外のインキです。フィルム等の軟包装材などを印刷する凹版印刷（グラビア印刷）のためのグラビアインキや、飲料缶などのための金属インキなどです。

その他

機能性樹脂などの、その他の製品です。機能性樹脂は、自動車や船舶の塗料、橋梁・道路などの土木建築用接着剤、半導体など電子部品の接着剤などに用いる合成樹脂です。

商品

他社製の印刷機や印刷関連資材などの仕入販売による売上です。



2023年3月期 第2四半期の実績

■連結損益計算書 (百万円)

	21.3期 2Q	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減額	増減率
売上高	20,295	21,648	21,919	270	1.2%
売上原価	16,749 (82.5%)	17,443 (80.6%)	17,945 (81.9%)	502 (1.3%)	2.9%
売上総利益	3,545 (17.5%)	4,205 (19.4%)	3,973 (18.1%)	▲232 (▲1.3%)	▲5.5%
販管費及び一般管理費	3,810 (18.8%)	3,890 (18.0%)	3,649 (16.6%)	▲241 (▲1.4%)	▲6.2%
営業利益	▲264 (—)	314 (1.5%)	323 (1.5%)	9 (0.0%)	2.9%
経常利益	▲8 (—)	1,057 (4.9%)	1,667 (7.6%)	610 (2.7%)	57.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲15 (—)	1,683 (7.8%)	1,144 (5.2%)	▲539 (▲2.6%)	▲32.0%

■連結売上高の版別内訳 (百万円)

	21.3期 2Q	22.3期 2Q	23.3期 2Q	増減額	増減率
UVインキ	8,831	10,063	10,384	321	3.2%
平版インキ	3,630	3,909	3,882	▲27	▲0.7%
その他インキ	3,752	3,368	2,999	▲369	▲11.0%
その他	1,405	1,758	1,679	▲78	▲4.5%
製品計	17,619	19,099	18,945	▲153	▲0.8%
商品	2,676	2,549	2,973	423	16.6%
売上高合計	20,295	21,648	21,919	270	1.2%

2023年3月期 第2四半期の実績と成果 T&K TOKA

(前年増減率)

売上高 **219億19百万円** **+1.2%**

■ UVインキ + 3億21百万円 + 3.2%

- 一般UVインキをはじめとする印刷インキは、海外市場を中心に拡販、販売価格の改定を進め増収
- 機能性材料は、FPDの供給過剰による生産調整・在庫調整の影響からカラーフィルター用顔料分散液の出荷が大幅に落ち込み減収

営業利益 **3億23百万円** **+2.9%**

- 諸コストの増加に対し、幅広い製品及び地域において継続的に販売価格の改定に取り組み、各地域での拡販が進んだ

経常利益 **16億67百万円** **+57.7%**

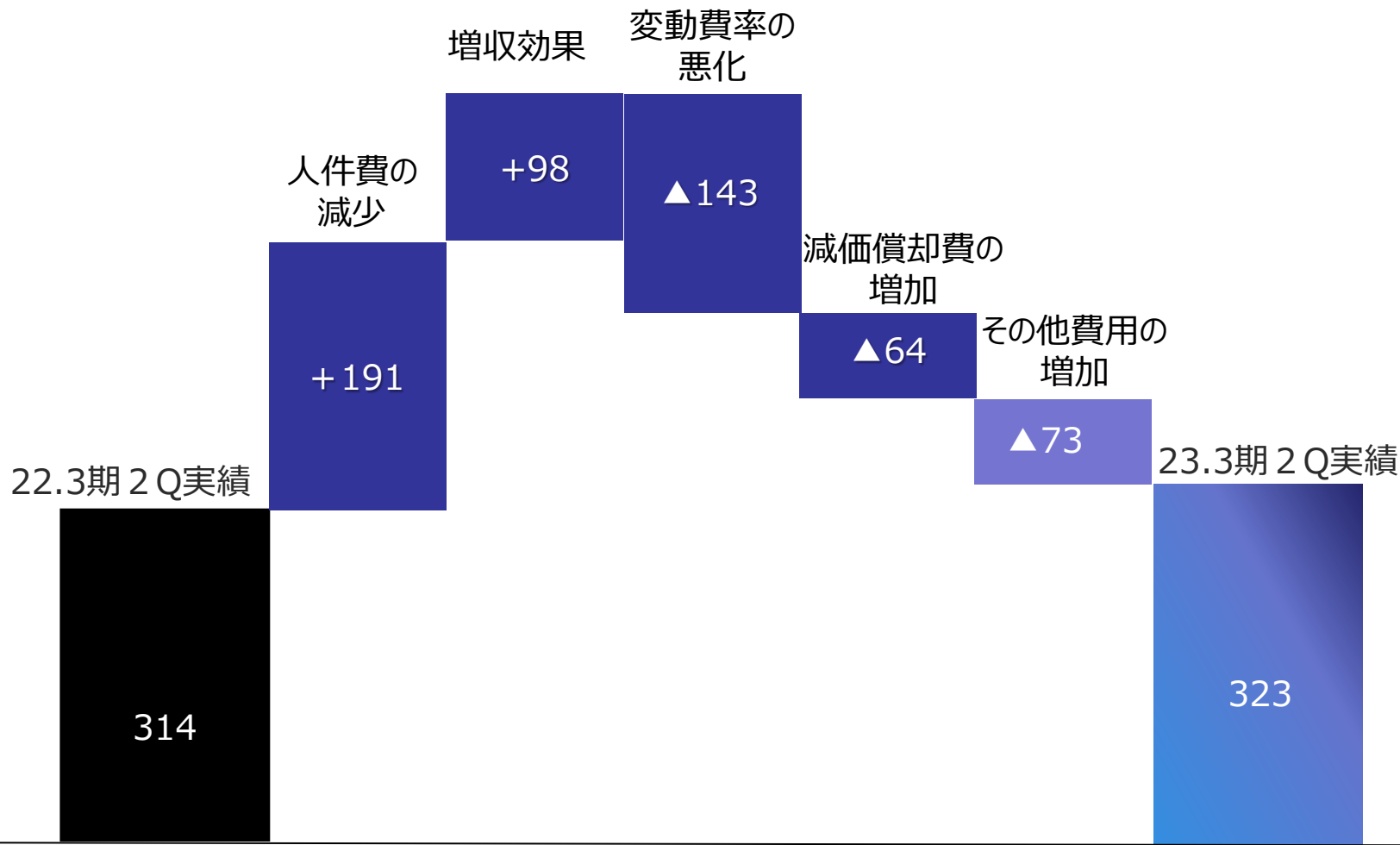
■ 為替差益 10億5百万円 (22.3期2Q 為替差益 3億44百万円)

親会社株主に帰属する四半期純利益 **11億44百万円** **▲32.0%**

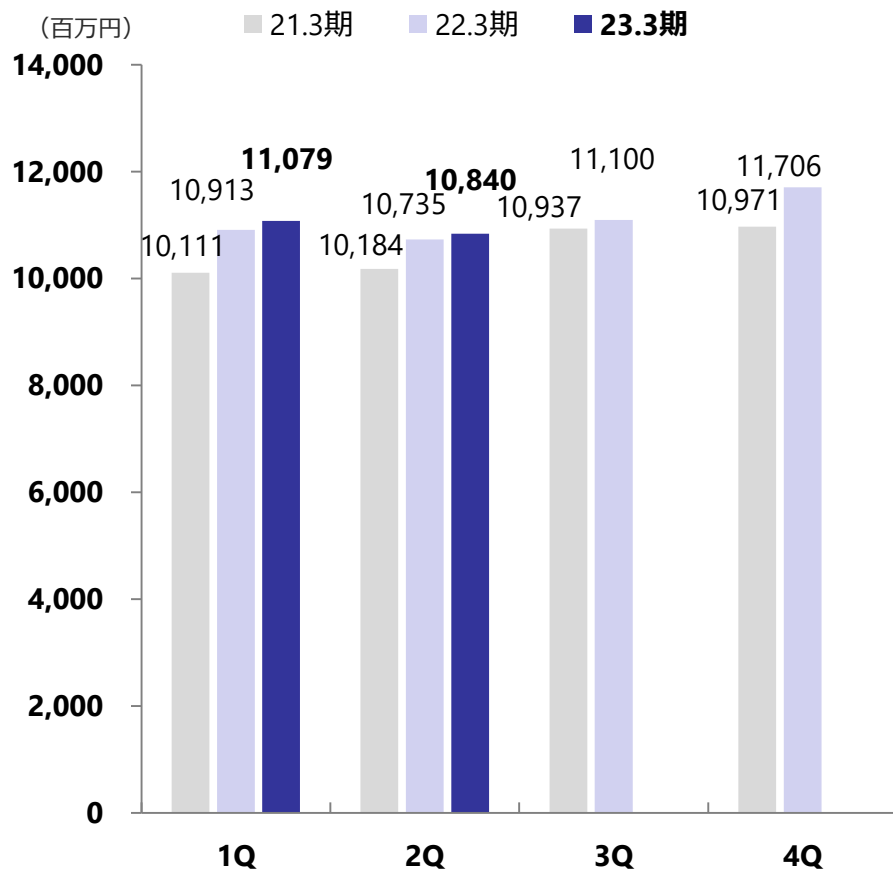
前期：固定資産売却益 6億64百万円
当期：子会社清算益 2億91百万円

2023年3月期第2四半期の営業利益の増減分析

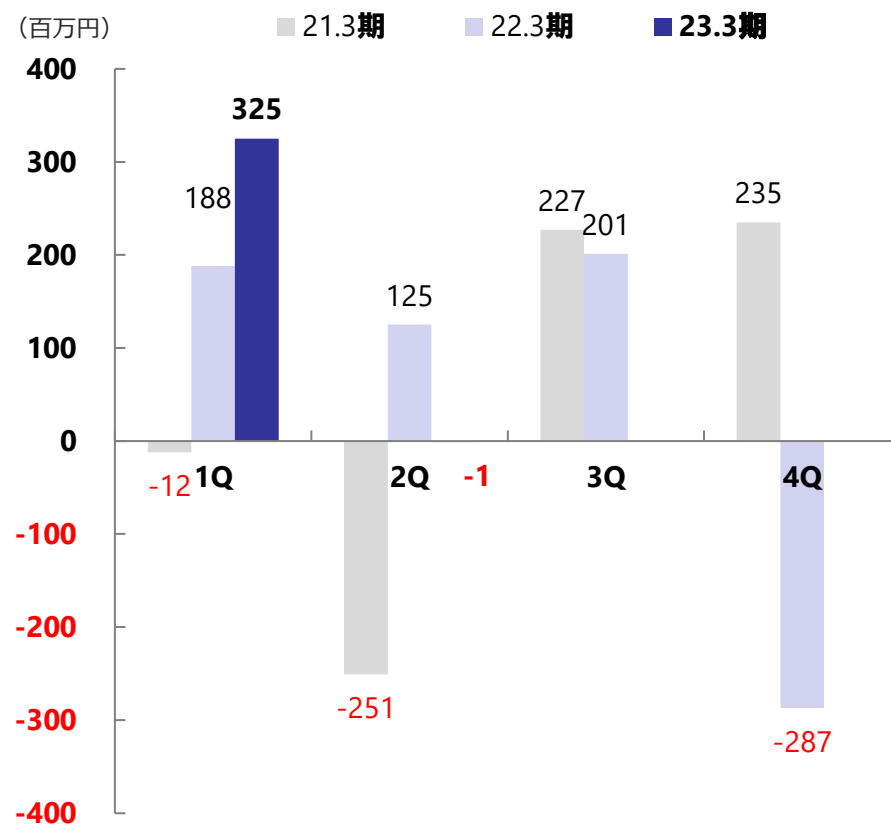
(単位：百万円)



売上高の推移



営業利益の推移



連結貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書 T&K TOKA

(単位：百万円)

連結貸借対照表	21.3期	22.3期	23.3期2Q	増減額
流動資産	31,161	31,341	27,919	▲3,422
現金及び預金	9,361	9,111	6,687	▲2,423
売上債権	13,948	14,349	12,835	▲1,514
棚卸資産	7,599	7,955	8,061	105
その他	276	406	335	▲71
貸倒引当金	▲24	▲481	▲1	480
固定資産	36,273	38,965	40,404	1,439
有形固定資産	23,278	24,443	24,821	377
無形固定資産	452	460	458	▲2
投資その他の資産	12,543	14,060	15,124	1,063
資産合計	67,435	70,306	68,323	▲1,983
流動負債	17,585	18,433	14,742	▲3,690
仕入債務	10,095	10,543	9,374	▲1,169
短期借入金	5,306	5,151	2,636	▲2,515
固定負債	5,106	3,577	3,036	▲541
長期借入金	3,061	2,249	1,878	▲371
退職給付に係る負債	243	255	280	25
負債合計	22,691	22,010	17,778	▲4,232
純資産合計	44,743	48,296	50,545	2,249
負債・純資産合計	67,435	70,306	68,323	▲1,983

連結キャッシュ・フロー	21.3期	22.3期	23.3期2Q	増減額
営業CF	3,227	2,295	1,807	▲488
投資CF	▲772	▲971	▲578	393
財務CF	▲2,643	▲1,725	▲3,994	▲2,269
現金及び現金同等物の残高	6,315	6,245	3,859	▲2,385

■連結損益計算書（百万円）

	21.3期実績	22.3期実績	23.3期予想	増減率
売上高	42,205	44,456	44,600	0.3%
売上総利益	7,818 (18.5%)	8,393 (18.9%)	8,420 (18.9%)	0.3%
営業利益	198 (0.5%)	228 (0.5%)	740 (1.7%)	224.0%
経常利益	1,088 (2.6%)	1,992 (4.5%)	2,480 (5.6%)	24.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,323 (3.1%)	2,651 (6.0%)	1,600 (3.6%)	▲39.7%

■連結売上高の版別内訳（百万円）

	21.3期実績	22.3期実績	23.3期予想	増減率
UVインキ	18,796	20,759	21,470	3.4%
平版インキ	7,494	8,030	8,010	▲0.2%
その他インキ	7,263	6,776	5,480	▲19.1%
その他	3,177	3,522	3,500	▲0.6%
製品計	36,731	39,088	38,460	▲1.6%
商品	5,473	5,367	6,140	14.4%
売上高合計	42,205	44,456	44,600	0.3%

※2023年3期予想は11月7日公表数値です。

(前年増減率)

売上高

446億0百万円

+ 0.3 %

- 一般UVインキをはじめとする印刷インキは、海外市場を中心に拡販、販売価格の改定を進め増収と予想
- 機能性材料は、F P Dの供給過剰による生産調整・在庫調整の影響により、カラーフィルター用顔料分散液の出荷が大幅に落ち込むと予想

営業利益

7億40百万円

+ 224.0%

- 原材料等の仕入価格の上昇は見込まれるものの、高付加価値製品の拡販や適正販売価格への改定により増益の予想

経常利益

24億80百万円

+ 24.5 %

- 為替による影響

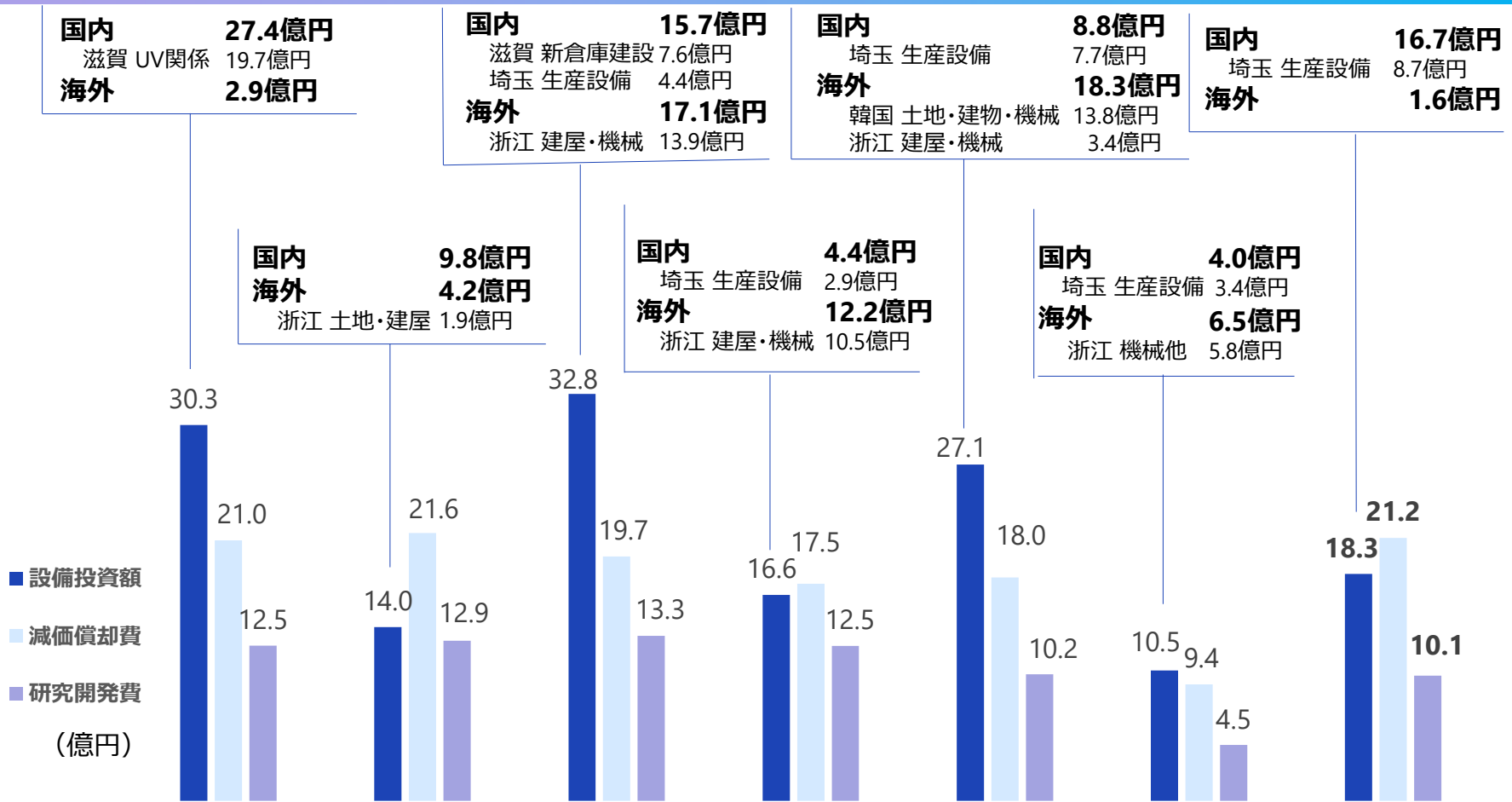
親会社株主に帰属する当期純利益

16億0百万円

▲ 39.7%

- 子会社清算益を計上
- 法人税等 当期予想：9億90百万円 前期：4億65百万円

設備投資、減価償却費、研究開発費の推移



国内 27.4億円
 滋賀 UV関係 19.7億円
 海外 2.9億円

国内 15.7億円
 滋賀 新倉庫建設 7.6億円
 埼玉 生産設備 4.4億円
 海外 17.1億円
 浙江 建屋・機械 13.9億円

国内 8.8億円
 埼玉 生産設備 7.7億円
 海外 18.3億円
 韓国 土地・建物・機械 13.8億円
 浙江 建屋・機械 3.4億円

国内 16.7億円
 埼玉 生産設備 8.7億円
 海外 1.6億円

国内 9.8億円
 海外 4.2億円
 浙江 土地・建屋 1.9億円

国内 4.4億円
 埼玉 生産設備 2.9億円
 海外 12.2億円
 浙江 建屋・機械 10.5億円

国内 4.0億円
 埼玉 生産設備 3.4億円
 海外 6.5億円
 浙江 機械他 5.8億円

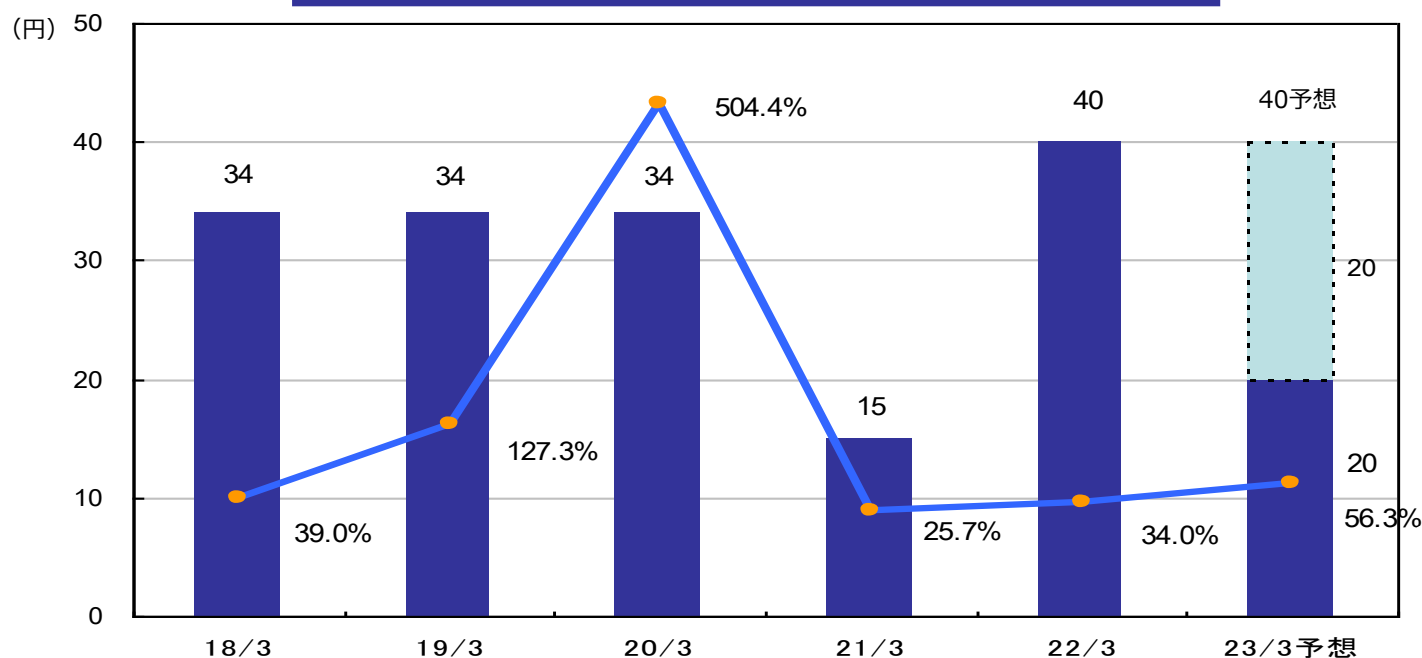
(百万円)	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期2Q	23.3期予想
設備投資※1	3,038	1,406	3,287	1,669	2,718	1,059	1,836
減価償却費※2	2,106	2,164	1,977	1,755	1,805	947	2,127
研究開発費	1,251	1,292	1,330	1,255	1,021	453	1,016

※1 竣工ベース

※2 リース資産の減価償却費を除く

将来の事業展開に備えた財務体質の強化を図るとともに、業績に応じて安定的な配当を継続していくことを、配当の基本方針としています。
連結配当性向は50%以上を目安に実施していく予定であります。

1株当たりの配当金・連結配当性向 (円、%)



(百万円、千株)	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期予想
配当総額	799	799	799	337	902	904
発行済み株式数	25,055	25,055	25,055	22,555	22,603	22,664

■浙江東華精細化工有限公司は2022年8月から本生産を開始

中国市場へのFPDカラーフィルター用着色剤等 ファインケミカル製品の製造販売

- ▼2021年6月 試生産開始
- ▼2021年7月 一部製品の製造販売開始
- ▼2022年4月 工場操業許認可申請完了
- ▼2022年8月 本生産開始



【正門】



【現場作業風景】

(2022年9月撮影)

中国における新型コロナウイルス感染症対策に伴い、工事の進捗及び政府当局による工場操業の許認可が遅れたため、2022年3月中の本生産開始を予定しておりましたが、遅延しました。

■2022年度中の子会社清算

東華油墨国際(香港)有限公司は2021年9月までに実質的な活動を全て終了しました。会社清算手続きに伴い、当第2四半期連結会計期間において連結の範囲から除外し、子会社清算益291百万円を計上しました。Van Sonオランダの実質的な活動は2021年12月に終了しました。会社清算手続きに伴い、第3四半期連結会計期間(2022年12月)において連結の範囲から除外する見込です。

■東証プライム市場上場基準を達成見込

当社は東証プライム市場上場維持基準のうち、株式の1日平均売買代金0.2億円以上の基準のみ未達であり、経過措置を適用してプライム市場を選択しておりましたが、2022年12月末日以前1年間の1日平均売買代金は0.2億円以上となって上場維持基準を達成する見込みです。

経済価値の向上と環境・社会価値の向上を両立するために 取り組んできた事例を紹介いたします

事例1：省エネルギー推進およびCO₂排出量削減

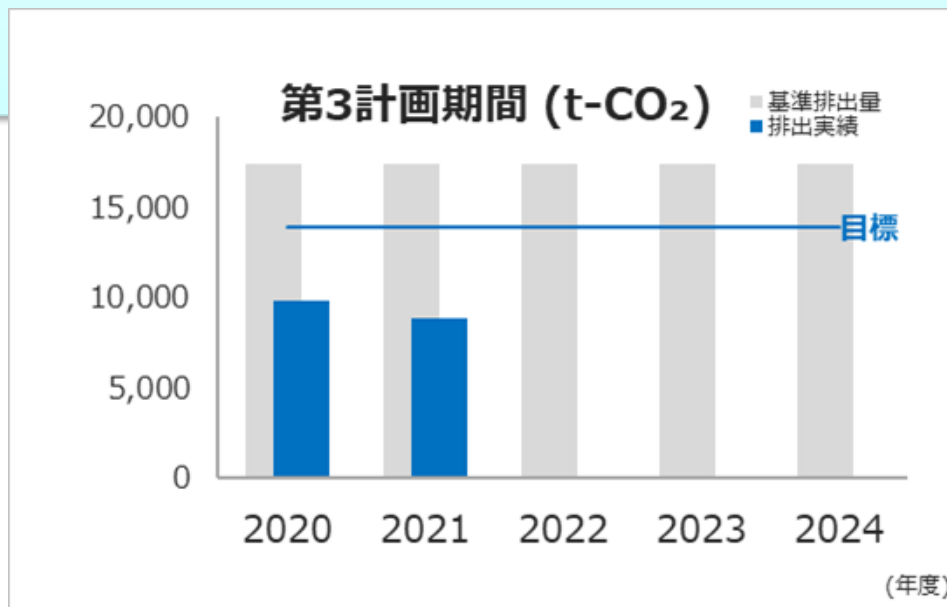
当社では、生産設備などの更新、および更新に伴う生産工程の効率化によって省エネルギーを推進しております。

当社メイン工場埼玉事業所での埼玉県地球温暖化対策計画制度への取り組み

- 第1計画期間 ～2014年度 : 基準年度比6%のCO₂排出量削減目標を達成。
- 第2計画期間 2015～2019年度 : 基準年度比13%のCO₂排出量削減目標を達成。
- 第3計画期間 2020～2024年度 : 基準年度比20%のCO₂削減目標に対し、2020年度は43%の削減を達成。
2021年度は基準年度比49%の削減を達成しました。

(基準年度…2004年度～2006年度の平均)

また、滋賀事業所においても、滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例(旧滋賀県低炭素社会づくり推進条例)に基づく事業者行動計画書制度の削減計画を2019年度より開始しており、目標達成に向けて日々改善に努めております。



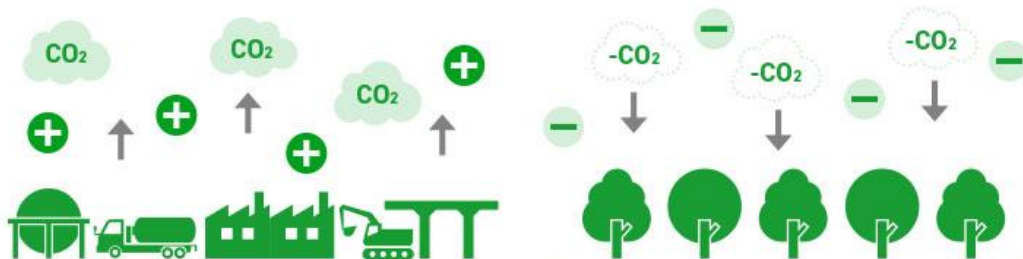
事例2：カーボンニュートラル都市ガスの導入

埼玉事業所および滋賀事業所にカーボンニュートラル都市ガスを導入しております。この都市ガス導入により、両事業所で使用する都市ガスは、使用時に排出するCO₂が実質ゼロとみなされます。(※1)

また、この理念に賛同して埼玉事業所は印刷インキ業界では初となるカーボンニュートラルLNGバイヤーズアライアンスへの加盟をしました。(※2)

カーボンニュートラル LNG

バリューチェーン全体で排出される温室効果ガスを、森林保全等で創出されたCO₂クレジットで相殺することにより、地球規模では排出量がゼロとみなされます。



LNGバリューチェーンで排出されるCO₂

森林保全・植林等で吸収されたCO₂

実質排出量ゼロ

埼玉事業所本部棟

2021年10月～2022年3月
使用量：220,257 m³
CO₂オフセット量：631 t-CO₂

埼玉UV工場

2021年8月～2022年3月
使用量：59,818 m³
CO₂オフセット量：172 t-CO₂

滋賀事業所

2021年10月～2022年3月
使用量：249,236 m³
CO₂オフセット量：652 t-CO₂



※1 カーボンニュートラル都市ガス…天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出されたCO₂クレジットで相殺すること(カーボン・オフセット)で、地球規模では、この天然ガスを使用してもCO₂が発生しないとみなされるLNGを活用した都市ガス

※2 カーボンニュートラルLNGバイヤーズアライアンス…持続可能な社会の実現に向け、CNL(カーボンニュートラルLNG)を調達・供給する東京ガスと購入する企業・法人が一丸となり、CNLの普及拡大とその利用価値向上の実現を目的として、2021年3月に設立

東京ガス株式会社様、大阪ガス株式会社様より交付の供給証明書

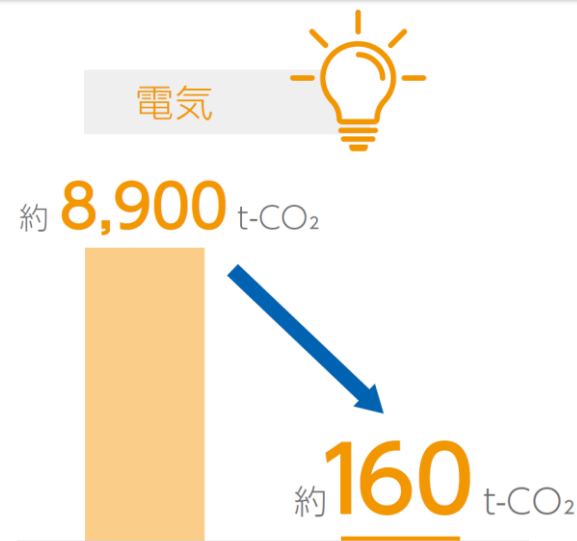
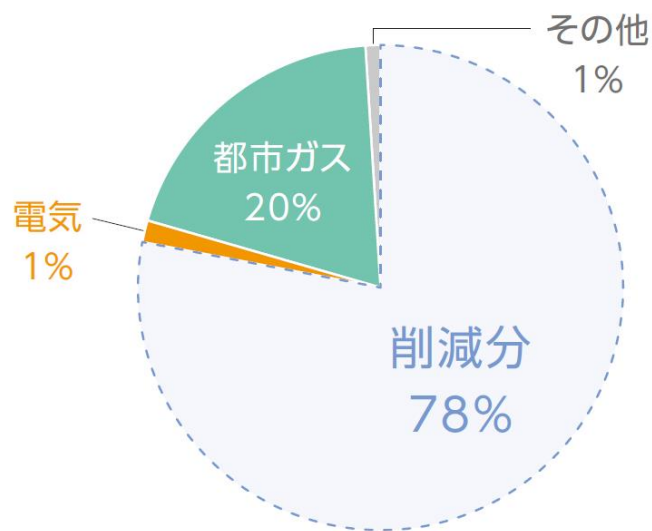
事例3：CO₂フリー電気の導入を開始

当社で一番多く使われているエネルギーが電気です。高効率設備への更新や省エネ活動で抑制を図っているものの、事業活動を行う上でまだ多くの電力を必要とします。

電気の使用に伴うCO₂排出量削減のため、2022年3月より再生可能エネルギー価値を持つ、CO₂フリー電気（※）の導入を開始しました。

※再エネ指定の非化石証書を使用した実質的に再生可能エネルギー電気100%

※CO₂排出係数 0.000kg-CO₂/kWh (調整後排出係数)



➡日本国内で使用する電気のうち、約98%が実質再生可能エネルギー電気に
(2022年11月現在)

当社は本年11月24日(木)~28日(月)に東京ビッグサイトで開催される【IGAS2022】に出展いたします。

今回初出展となる「EBインキ」をはじめ、新しいUVインキの紹介、環境に配慮したビジネスなど、「持続可能な社会の実現のために当社が何を提供出来るのか」を提案する展示内容となっております。



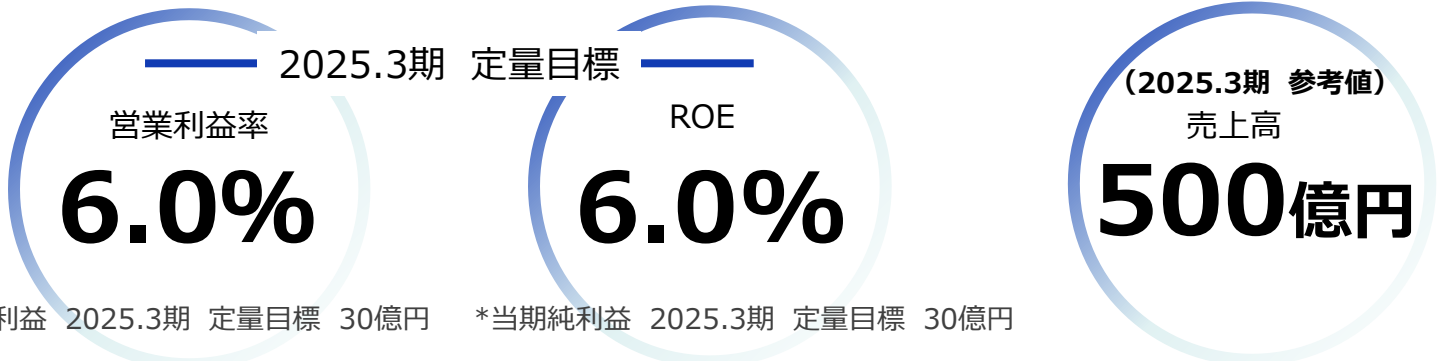
〈展示内容〉

- ・ EBインキ
 - ・ 新UVインキ製品
 - ・ 紙軟包装のご提案
 - ・ 新特練ビジネス
 - ・ 当社環境対応の取り組み
 - ・ 省電力UVインキ
 - ・ バイオマスインキ
 - ・ 海外向け製品
- など



将来に向けた方向性

中期計画
(2023.3期-2025.3期)



将来展望
(2030年)

UVインキの高安全性タイプへの完全移行と、軟包装印刷のEBインキ化への転換を進める
 “UV・EBインキへの集中による収益力向上と事業成長”へ向け、パッケージ印刷分野に注力

2030年をターゲットとして、世界的に環境・安全面で改善の余地を残している軟包装印刷分野において、従来の「溶剤インキ」から「EBインキ」への転換を実現することにより、社会課題解決と当社の事業成長の両立を図る

パッケージ印刷分野細分類	位置付け	インキ種	取り組み項目
ラベル・紙器	市場優位の維持強化	UVインキ	<ul style="list-style-type: none"> 低エネルギー硬化性向上 バイオマス原料の構成率向上 印刷物の易リサイクル性能向上 化学物質としての安全性向上
軟包装	新領域への進出	EBインキ	<ul style="list-style-type: none"> 印刷仕上り品質の向上 適用可能用途の拡大 溶剤インキからの切り替え促進

- お客様への提供価値・訴求点
- 印刷時の省エネ化
 - GHG排出量削減
 - サーキュラーエコノミー対応
 - ゴミ削減
 - プラスチック削減
 - 健康有害の安全度向上
 - 大気汚染改善
 - VOC職場環境改善
 - 爆発・火災発生リスク低減
 - 輸送効率向上 等

「EBインキ」は、EB (Electron Beam = 電子線) の照射により瞬間硬化するインキで、次の特徴があります

- ・溶剤／光開始剤不使用のため、低臭かつ安全性が高い印刷物が得られる
- ・溶剤不使用の為、VOCフリー！作業環境の改善が図れる

→つまり、従来の溶剤型インキに比べて、環境・安全面で優位性があり、食品包装・日用品包装用途等の軟包装印刷に適しています。

従来の「溶剤型インキ」から無溶剤の「瞬間硬化インキ」への転換を実現し社会課題を解決！

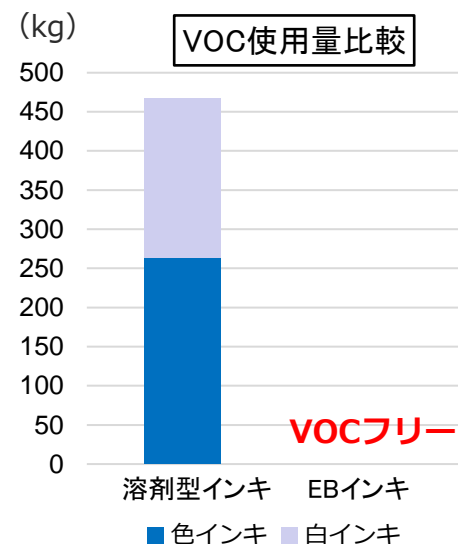
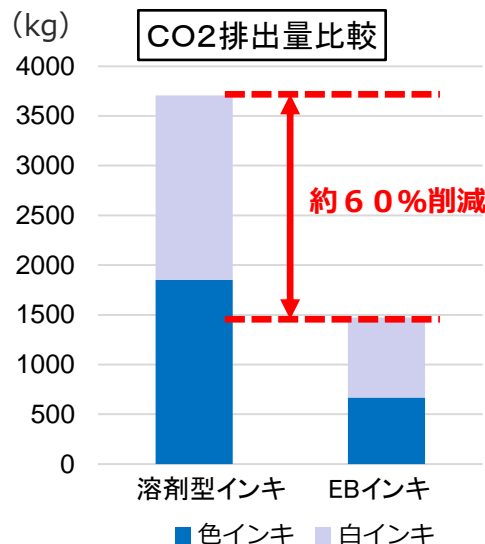
世界の印刷インキの用途別需要予測において、パッケージ印刷用途は将来にわたり成長が見込まれています。

大きな市場規模を持つ軟包装分野の主流である溶剤インキは、世界的に環境・安全面で改善の余地を残しているといえますが、EBインキは、その特徴から従来の溶剤インキの課題解決に適しており、当社にとって成長に向けた新領域となると考えております。

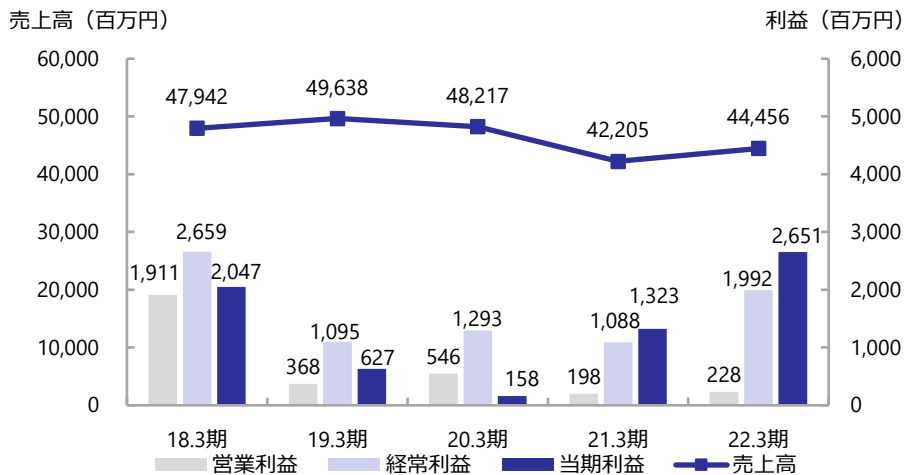
「溶剤インキ」を「EBインキ」への転換を実現することで、社会課題の解決と当社の事業成長の両立を図り、2031年3月期に軟包装EBインキ売上高100億円超を目指します。

【EBインキによる環境負荷低減効果】

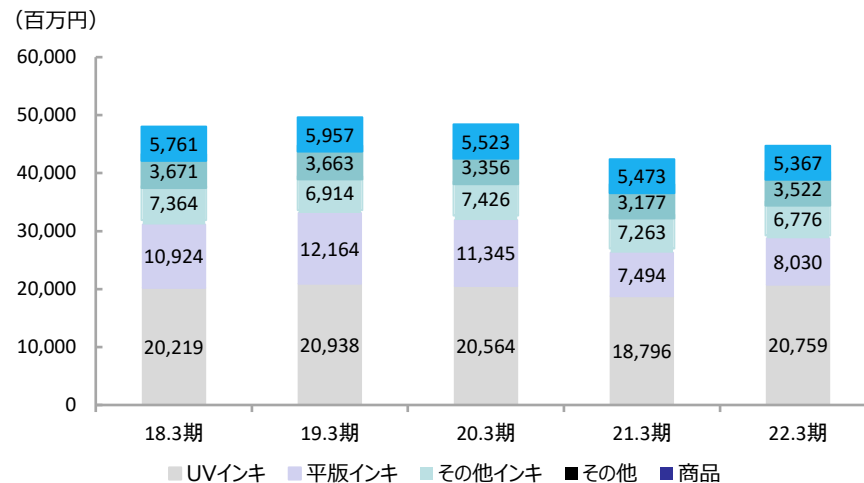
*同濃度印刷物（10万m）でのインキ量で算出



連結業績の推移



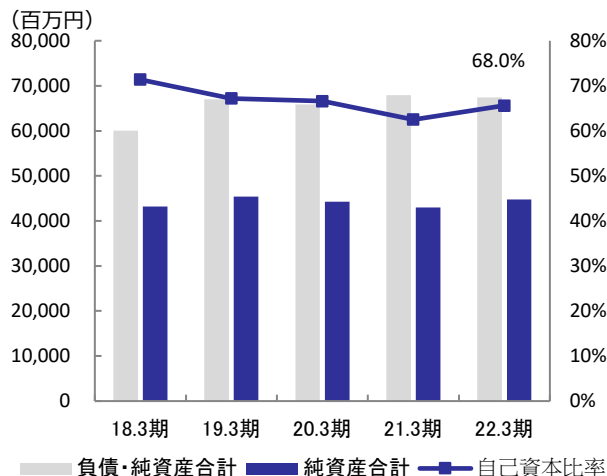
製品ごとの連結売上高の推移



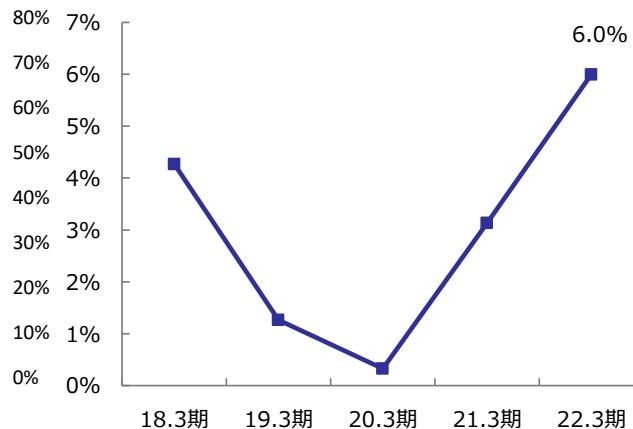
地域ごとの連結売上高の推移 相殺消去後 (百万円)

	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期
日本	34,895	34,419	32,885	28,160	28,825
アジア	10,963	10,900	10,570	9,677	10,547
その他地域	2,083	4,318	4,761	4,367	5,082
北米	1,219	2,626	2,968	2,701	3,068
欧州	473	897	1,137	983	1,159
その他	388	792	654	682	854

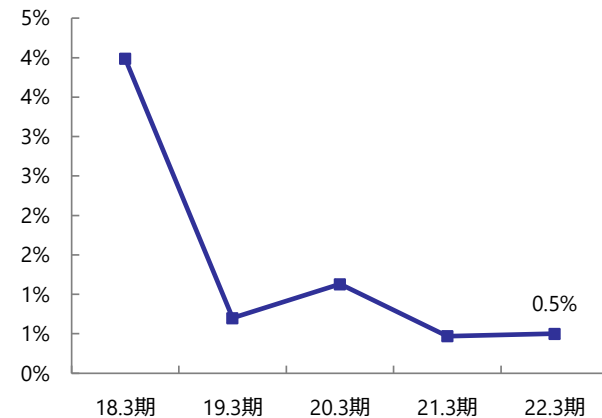
総資産、純資産、自己資本比率の推移 (連結)



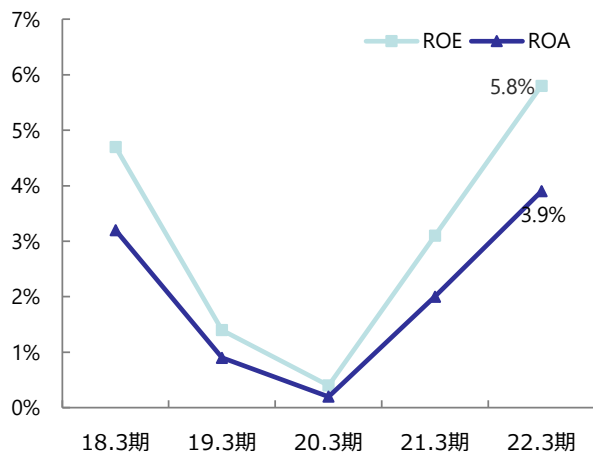
売上高当期純利益率 (連結)



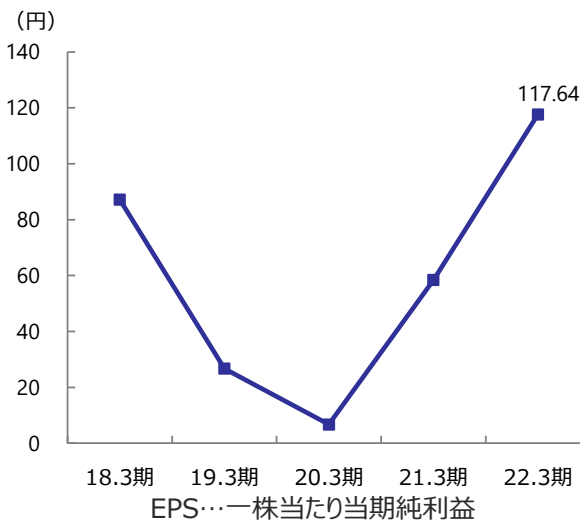
売上高営業利益率 (連結)



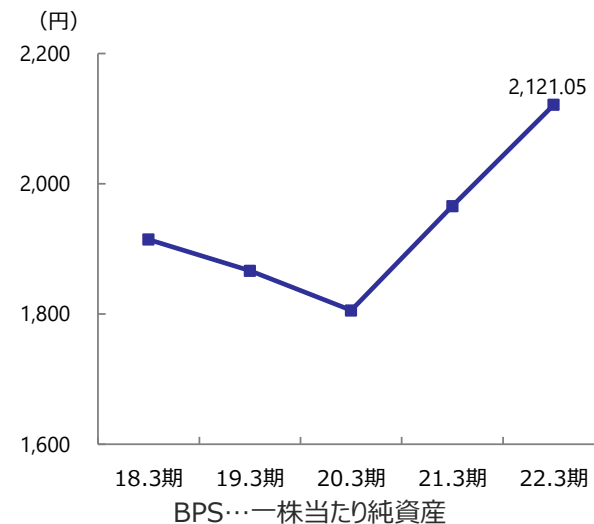
ROE、ROAの推移 (連結)



EPS (連結) の推移



BPS (連結) の推移



Corporate Slogan

Technology and Kindness

経営理念

「独自のテクノロジー」で
「お客様にとって真によいもの」を提供し、社会に貢献する

2030年ビジョン

個人と組織が共に成長し
社会から信頼される
グローバル企業となる

経営の基本方針

お客様起点で考え行動し、
価値を創造する

自ら成長に努力する社員を
支援し、成果を公正に評価
する

事業活動を通じて社会課題
を解決する

T&K TOKA は、1947年に印刷インキメーカーとして創業し、製品群を印刷インキから精密分散品や機能性樹脂に展開してきました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすくいいものを提供していこう」という「まごころ」は75年経った今も、当社のDNAとして息づいています。

これは、100年後も変わらないし、変えてはいけないと強く思っています。

一方で「テクノロジー」。現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、より一層の変化が必要だと考えています。

チャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案していきたいと考えています。

このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

IRの問合せ先

株式会社 T & K TOKA 財務部
Tel 03-3963-0511
Mail ir.tk@toka-global.com

